

中部経済産業記者会、瀬戸市記者会、
豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ同時



本事業は、SDGsの「8 働きがいも経済成長も」
「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」に資する取
組です。

2020年8月12日(水)
あいち産業科学技術総合センター
共同研究支援部シンクロトン光活用推進室
担当 杉山、村井、村瀬、鹿野
ダイヤルイン 0561-76-8315
愛知県経済産業局産業部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 土本、河野、福田
内線 3389、3388
ダイヤルイン 052-954-6347
公益財団法人科学技術交流財団
あいちシンクロトン光センター ユーザー支援室
担当 渡辺、上原
電話 0561-76-8330

シンクロトン光計測分析に関する発表会の参加者を再募集します ～第8回 あいちシンクロトン光センター 事業成果発表会～

「知の拠点あいち」内に設置している、あいちシンクロトン光センター^{*1}は、分子や原子レベルで物質の組成等を解析できるナノテクノロジー研究に不可欠な最先端の計測分析施設で、県内外の様々な産業分野の企業、大学及び公的試験研究機関の方々に御利用いただいています。

愛知県と公益財団法人科学技術交流財団では、シンクロトン光を更に多くの皆様に活用していただくため、毎年当施設の事業成果発表会を行っています。第8回あいちシンクロトン光センター事業成果発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期(2020年2月28日記者発表済み。)していましたが、この度、開催日、募集定員及び一部内容を変更し、参加者を再募集します。

当日は、2019年度の「成果公開無償利用事業^{*2}」に採択された利用課題について、口頭発表を行うほか、あいち産業科学技術総合センターがシンクロトン光を利用して行った研究成果も御紹介します。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

1 日時

2020年10月30日(金) 午後1時から午後6時まで
(受付開始: 午後0時30分)

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によって、延期・中止の可能性がります。

2 場所

愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA室
名古屋市東区東桜一丁目13番2号 電話: 052-971-5511

(地下鉄東山線、名城線「栄」駅下車 徒歩3分、名鉄瀬戸線「栄町」駅下車 徒歩2分)

※会場へは公共交通機関を利用してお越しください。

3 共催等

共催：愛知県、公益財団法人科学技術交流財団

協賛：光ビームプラットフォーム^{※3}

後援：公益社団法人日本分析化学会 X線分析研究懇談会

4 内容

(1) 2019 年度成果公開無償利用課題成果発表（午後 1 時～午後 5 時）

＜成果公開無償利用課題＞	＜利用企業、大学＞
X 線吸収分光による鋼中炭素の固溶・析出に関する研究	日本製鉄株式会社
金属細線における加工と熱処理に伴う金属組織変化の解析	住友電気工業株式会社
異種金属の接合界面のイメージングならびに化学状態分析技術の開発	矢崎総業株式会社
加熱時間に伴うポリマーおよび酸化防止剤の化学状態分析	矢崎総業株式会社
シンクロトロン光を用いた低抵抗 ITO の構造解析	株式会社フジワラ
XRD による磁性材料の電子軌道解明	株式会社デンソー
重金属の不溶化資材の反応機構の解明	東京農工大学 石原産業株式会社
イオン交換および熱処理による複合酸化物塩の価数制御	東京理科大学 株式会社デンソー
水素発生用 Al 含有金属材料における XAFS による状態解析	株式会社コベルコ科研
EXAFS による錯体構造評価を利用した Am/Cm 分離用抽出剤構造最適化	東京都市大学 株式会社ケミクレア
XAFS 分析を用いた Fe および Mn 酸化細菌により生成した Fe、Mn 系沈殿物の構造解析	早稲田大学 株式会社ナガオカ
表面 X 線回折による自動車排気ガス触媒の多層構造解析	ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社
新規蛍光体酸化物の低温・短時間合成のための電気炉の改良と発光特性向上に向けた取り組み	豊橋技術科学大学 フルテック株式会社
引張荷重下における木材の早晚材部の XRD 分離測定	名古屋大学 株式会社中村建築研究所

(2) あいち産業科学技術総合センター成果発表（午後 5 時～午後 6 時）

＜あいち産業科学技術総合センター発表課題＞
窒化処理を施した鋼材表面性状のシンクロトロン光評価
いぶし瓦炭素膜界面の Fe 元素の及ぼす影響について

5 参加費

無料

6 対象者

技術開発に取り組む企業の方々を始め、どなたでも自由に参加できます。

7 定員

90名（申込先着順）

※会場の収容人員の50%程度とします。

8 申込方法

あいちシンクロトロン光センターWebページの申込みフォーム

(<http://www.astf-kha.jp/synchrotron/userguide/event/8.html>)にアクセスし、必要事項（氏名、所属、役職、電話番号、メールアドレス）を記入の上、お申込みください。

9 申込期限

2020年10月23日（金）午後5時

※定員に達し次第、締め切ります。御了承ください。

※Webでお申込みの際、参加証が発行されますので、印刷して当日お持ちください。

※参加御希望の方は、必ず事前にお申込みください。当日の御参加はお断りする場合があります。

10 問合せ先

あいち産業科学技術総合センター

共同研究支援部 シンクロトロン光活用推進室（担当：杉山、村井、村瀬、鹿野）

〒470-0356 愛知県豊田市八草町秋合1267-1

電話：0561-76-8315 FAX：0561-76-8317

mail：seminar@chinokyoten.pref.aichi.jp

URL：http://www.aichi-inst.jp/

公益財団法人科学技術交流財団

あいちシンクロトロン光センター ユーザー支援室（担当：渡辺、上原）

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町250番3

電話：0561-76-8330 FAX：0561-21-1652

mail：aichisr@aichisr.jp

URL：http://www.astf-kha.jp/synchrotron/

【用語説明】

用語	説明
<p>※1 あいちシンクロトロン光センター</p>	<p>公益財団法人科学技術交流財団が整備・運営する、分子や原子レベルで物質の組成等を解析できるナノテク研究に不可欠な最先端の計測分析施設（2013年3月オープン）。 産業利用を主目的とし、隣接するあいち産業科学技術総合センターが備える高度計測分析機器との相互利用によって、地域企業の技術的な課題解決を強力に支援する。 なお、シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく、マイクロ波、赤外、可視、紫外からX線まで連続した波長の光を含む。この光を利用して様々な計測・分析を行う。</p>
<p>※2 成果公開無償利用事業</p>	<p>通常は秘匿される利用成果の公開を条件として、企業等にあいちシンクロトロン光センターのビームラインを、無償で利用いただく事業。県及び(公財)科学技術交流財団がこれらの利用課題の成果を広く公開し、あいちシンクロトロン光センターの利用拡大につなげることを目的とする。</p>
<p>※3 光ビームプラットフォーム</p>	<p>日本独自の技術に基づき開発・運用されている先端的なシンクロトロン光施設と大型レーザー施設の8機関がネットワークを形成し、産学官による施設の利用をより一層推進しようとする枠組み。高度な課題解決を図る連携ユーザー支援、標準化やデータ校正、次世代に向けた人材育成などを重点課題として位置づけ、取組みを行っている。</p>